

安全の手引き

サモア

《 目 次 》

- I はじめに

- II 防犯の手引き
 - 1 防犯の基本的な心構え
 - 2 サモアにおける最近の犯罪発生状況
 - 3 防犯のための具体的注意事項
 - 4 緊急連絡先等一覧

- III 緊急対処マニュアル
 - 1 平時の準備と心構え
 - 2 緊急時の行動
 - 3 緊急事態に備えてのチェックリスト

I はじめに

この安全の手引きは在留邦人や旅行者の皆様がサモアで事件・事故に巻き込まれることのないように、留意事項をまとめたものです。これらの情報がサモアで生活される皆様の参考になれば幸いです。

II 防犯の手引き

1 防犯の基本的な心構え

サモアの治安状況は比較的安定していますが、「自分の身は自分で守る」という意識を持ち、日頃から安全情報の入手に努め、犯罪被害に遭わないよう心掛けてください。

2 サモアにおける最近の犯罪発生状況

サモアでは銃器による強盗や殺人等の凶悪犯罪は少ないものの、在留邦人を含む外国人宅を狙った空き巣や車上荒らし、大麻、覚醒剤等の薬物常習者による傷害事件、飲酒に伴う喧嘩、女性を狙った性犯罪等が発生しています。特に酔っ払いが多く集まるところではトラブルに巻き込まれる可能性が高いため、これらの場所には不用意に近づかないようにしてください。

3 防犯のための具体的注意事項

(1) 住居防犯対策

(ア) 住宅選びのポイント

地域の治安情報を収集し、周辺住民の生活環境や状況を確認する。

(イ) 住居侵入窃盗を防止するための対策

○住居の鍵

- ・入居時又は盗難・紛失の際は、可能な限り新しい鍵に取り替えること。
- ・入居前に各出入口ドア、車庫等の鍵がしっかりと機能しているかを確認すること。

○住居の窓や外壁等

- ・窓には最新の取り付け金具に交換するか補助鍵を設置すること（飛散防止フィルムも有効（大家さんに相談））。
- ・補助錠や警報ブザー、また外壁にセンサーライトなどを設置するなど、侵入されにくい環境を作ること。

○庭

- ・定期的に樹木の剪定を行い、視界を確保して泥棒に隠れる場所を与えないこと。
- ・梯子や踏み台等、屋内への侵入手段となるものを放置しないこと。

○近隣関係

近所付き合いを良好にし、不審者が来た場合の通報等、協力関係を構築する。

○在宅時の留意事項

- ・在宅時も鍵を掛けること。

- ・ 来訪者に対しては、付近に不審な車がないかを確認した上でインターホン又はドア越しに対応し、来訪者の身分、要件等を必ず確認すること。
 - ・ 就寝時は寝室に鍵を掛け、電話又は携帯電話の通信手段を手元に確保しておくこと。
 - ・ パソコンや貴重品等は窓の外から見える場所に置かないこと。
- 不在時の留意事項
- ・ 日中・夜間を問わず、外出の際は必ず鍵を掛けること。
 - ・ 長期間留守にするときは、隣人や家主に見回りを依頼し、貴重品は金庫等の安全な場所に保管すること。
- 住居侵入被害にあった場合の措置
- ・ 速やかに警察（9 1 1）に連絡すること。
 - ・ 警察の鑑識活動のため、被害場所、遺留品等には触れないこと。
- (2) スリ、置き引き、ひったくり被害の防止
- (ア) 空港・ホテルロビー等では、所持品は常に自分の身の回りに置き、常に体に触れているよう心掛ける。
 - (イ) ズボンのポケットなどに財布や貴重品を入れないこと。
 - (ウ) 多額の現金や貴重品は持ち歩かないこと。
 - (エ) 歩道を歩く際、バック等は車道と反対側に持つこと。
 - (オ) ATM を利用する際は、周囲に不審者がいないか確認すること。また、暗証番号を入力する際には、手で隠して他人に覗かれないように注意すること。
 - (カ) 見知らぬ人に声をかけられても基本的に相手にしないこと。
- (3) 車上荒らし被害の防止
- (ア) 外から見える車内に貴重品を放置しないこと。
 - (イ) 短時間の駐車といえどもドアロックを確実に行うこと。
 - (ウ) 警報ベル、ハンドル固定器具等の防犯機器を備えること。
- (4) 強盗犯罪被害防止
- 強盗の被害にあった場合は抵抗せず、犯人の人相、着衣、人種、逃走方向、車両ナンバー等を記憶し、警察に通報すること。
- (5) 性犯罪被害防止
- (ア) 夜間の女性の一人歩きは避けること。
 - (イ) 見知らぬ人からの誘い（英会話指導、食事、観光案内等）には乗らないこと。
 - (ウ) タクシー乗車時、運転手から聞かれても個人の生活（一人住まい等）は明かさな
- こと。
- (6) 薬物犯罪の防止
- (ア) バー等で薬物の使用や購入を持ちかけられても絶対に応じないこと。
 - (イ) 合法的薬剤と勧められても、薬剤関係には手を出さないこと。
- (7) 宿泊施設での盗難防止

(ア) セキュリティーの整った宿泊施設を選び、貴重品はセーフティーボックスに入れるか、ホテルのフロントに預けること。

(イ) 在室時は、ドアチェーンを掛けること。ボーイやルームサービスに対しても不用意にドアを開けないこと。

(8) 交通事情と事故対策

サモアでは飲酒運転に起因する交通事故が多く発生しているため、これらの事故に巻き込まれないように注意が必要です。また、幹線道路はアスファルトで舗装されていますが、アスファルトが剥がれ、大きな穴が開いている箇所もあり、運転には注意が必要です。

(9) 水難事故対策

サモアでは過去に水難事故で邦人が亡くなる事案が発生しています。遠浅のビーチでも、潮の流れが速い箇所もありますので、十分注意が必要です。

(ア) 遊泳に適切な場所か否か事前確認すること。

(イ) 行き先は必ず家族や知人に連絡しておくこと。

(ウ) 単独又は初心者だけでは遊泳（ダイビング、シュノーケル）をしないこと。

(エ) 天気の悪い日、潮の流れの早い日、高波の日は遊泳しないこと。

(10) テロ・誘拐対策

サモアでは、反政府武装組織やイラク・レバントのイスラム国（ISIL）等のイスラム過激派等の国際的テロ組織の活動は確認されていません。また、身代金目的の誘拐事件や外国人を標的とした誘拐事件発生も確認されていません。国民のほとんどがキリスト教を信仰し、宗教間の対立もなく、また国民の9割がポリネシア系サモア人のため民族間の対立もありません。

4 緊急連絡先等一覧

警察	9 1 1 (+685) 2 2 2 2 2
消防・救急	9 1 1 (+685) 2 0 4 0 4
国立病院（ウポル島）	(+685) 2 1 2 1 2
在サモア日本国大使館	(+685) 2 1 1 8 7

III 緊急対処マニュアル

1 平時の準備と心構え

(1) 大使館への届け出

(ア) 在留届

3ヶ月以上当地に滞在される方は当館まで在留届の提出をお願いします。（こちらは、[オンライン在留届](#)から届出可能です。）

また、届出内容に変更がある場合、及び帰国の際にもその旨ご連絡ください（在留届

は旅券法で提出が義務づけられています。)

(イ) たびレジ

3ヶ月未満の短期滞在の方は、滞在予定を登録して頂けるシステム「[外務省海外旅行登録 \(たびレジ\)](#)」がありますのでご活用下さい。本登録を行うことで、当館からの最新の安全情報をメールで確認できる他、緊急時には安否確認に利用されます

2 緊急時の行動

- (1) 災害を伝える報道に接した日本国内の家族等関係者より、在留邦人の安否の確認照会が殺到することが予想されます。可能な限り、日本国内の家族等に自分の安否を知らせてください。
- (2) 自分や自分の家族、または他の邦人の生命・身体に危害が及ぶ、またはその恐れがある場合は、その状況を当館まで報告願います。

3 緊急事態に備えてのチェックリスト

項目	ポイント
旅券等	<ul style="list-style-type: none">○ 残存有効期間を確認 (1年未満は、旅券切替(更新)の手続を)○ 新生児等で旅券を持っていない場合は、戸籍等の関係書類が整い次第、早めに旅券の取得を○ 旅券最終頁の「所持人記載欄」の記載もお忘れなく○ このほか運転免許証等の身分証明書も常に携行、あるいは、すぐに持ち出せるように準備を
現金、クレジットカード等	旅券と同様にすぐに持ち出せるよう保管
自動車	<ul style="list-style-type: none">○ 日常的な車両の整備○ 常に十分な燃料を○ 懐中電灯、地図、バッテリー用ブースター等を車両に常備○ 車を所有していない場合、平時から知人等に避難時についての相談を
携行品 (上記の他、避難場所での待避の際の準備品目)	<ul style="list-style-type: none">○ 衣類、着替え○ 防水、防寒着○ 履物 (運動靴等身動きがとれやすいもの)○ 洗面道具 (タオル、歯磨きセット、石けん等)○ 寝袋○ 非常用食料等 家族全員が最低 3 日間(理想は 10 日間)程度生活できる量を <ul style="list-style-type: none">・ 米 (アルファ米等の火を使わずに食べられるもの)・ 缶詰類 (簡単に開けられるもの)

	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタント食品（加熱せずに食べられるものがよい） ・粉ミルクやビスケット等の保存食 ・ミネラルウォーター ・水筒（大型が望ましい） <p>○ 医薬品等 家庭用常備薬の他、常用薬、外傷薬、消毒用石けん、衛生綿、包帯等</p> <p>○ ラジオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地放送聴取用AM・FMラジオ ・短波ラジオ（NHK国際放送、BBC等の短波放送聴取用） ・ラジオ用予備電池 <p>○ その他 携帯電話用バッテリー（コンセント不要のもの）、懐中電灯・予備電池、ライター、ろうそく、マッチ、ナイフ、缶切り、栓抜き、紙製の食器、割り箸、簡単な炊事用具、ヘルメット、防災頭巾（代替品として椅子用クッション等も可）。</p>
連絡先リスト	電力が確保できないときを考慮し、電子媒体（携帯電話の電話帳など）のほか、紙に印字等したものの用意もお勧めします。